

一般社団法人「健康な食事・食環境」コンソーシアム
第2回認証審査会議事要録

日時：2024年7月13日（土）16:10～17:25

場所：女子栄養大学駒込キャンパス3号館 第一会議室/Zoom（ハイブリッド出席型）

出席者：

理事 武見ゆかり（代表理事） 市川陽子（副代表理事）
串田修（理事） 狩野恵美子（理事） 黒谷佳代（理事） 田丸淳子（理事）
監事 土橋卓也
委員 中出美代（日本栄養改善学会） 狩野恵美子（日本給食経営管理学会） 再掲
濱田千雅（健康経営研究会） 梅澤光政（日本公衆衛生学会）
寺内康夫（日本糖尿病学会） 津下一代（日本肥満学会）
小熊祐子（日本健康教育学会） 長井美穂（日本腎臓学会）
竹本稔（日本動脈硬化学会） 笛木賢治（日本補綴歯科学会）

欠席者： 理事）赤松利恵， 監事）川島由起子

委員）早瀬仁美（日本高血圧学会）， 武藤倫弘（日本がん予防学会）

事務局： 土屋 文， 大谷恵里子

開会：議長は，代表理事 武見ゆかりが務めた。

1. 第8回応募及び更新状況

串田技術審査委員長より，新規応募と更新状況について説明があった。

	応募件数 (昨年)	本審査件数	内、審査料 免除申請	認証☆数（予定）		
				★	★★	★★★
計	57 (50)	56	8/56 (14.3%)	17	25	14
外食部門	16 (7)	16	6/16 (37.5%)	7	6	3
中食部門	10 (18)	10	2/10 (20.0%)	5	2	3
給食部門	31 (25)	30	0/30 (0.0%)	5	17	8

新規応募数はコロナで減少が続いていたが，今年度は昨年度に比べて微増した。
給食部門では，応募31件中，1件が未完成となり30件が本審査対象となった。

	更新 対象	更新 (更新率)	内、審査料 免除件数	詳細
外食部門	44	29(65.9%)	4(13.8%)	更新しない14件，一時停止1件
中食部門	38	28(73.7%)	7(25.0%)	更新しない10件，不明0件
給食部門	131	110(84.0%)	0(0.0%)	更新しない9件，2回認証6件， 一時停止1件，不明5件

更新状況については、中食・給食部門において高い更新率であった。

2. 第8回応募事業者技術審査結果（外食・中食部門）

外食・中食部門について、串田技術審査委員長（外食・中食部門審査担当）より説明がなされた。減免申請は外食部門で8件、中食部門で2件であった。外食部門の応募16件について紹介があり、行政管理栄養士のサポートがある店舗が複数みられたとの報告があった。続いて中食部門の応募10件について説明があり、今回の新しい点としては、キッチンカーでの弁当販売が初めて認証されたことであった（10件中2件）。また、梅澤委員より写真から野菜重量が少なそうに見える弁当の指摘があり、その場で応募資料の確認がされ、規定重量を満たしていると説明があった。長井委員からは、個包装ソースのついた弁当について、ソース全量を含めた食塩相当量で規定範囲内なのかの質問があり、添付の調味料は全量摂取として基準内に入ることが必要との説明があった。以上をふまえ、全件認証された。

3. 第8回応募事業者技術審査結果（給食部門）

給食部門について、田丸技術審査副委員長（給食部門審査担当）より説明がなされた。応募数は昨年の25件に比べて30件と増加した。★の数についても、2つもしくは3つ獲得する事業所が増えており、意欲的に取り組んでいる事業者が増えているとの感想が述べられた。地域としては関東エリアが多かった。減免申請は0件であった。今回は同一企業から3件、8件と複数事業所の応募があった。新規応募全30件の中から、6件について具体的な説明があった。そのうち社員食堂だが弁当形式のものについて、津下委員より弁当ならば中食部門ではないのか、と質問があった。中食部門は不特定多数の人に対する販売であり、今回の申請は、社員食堂にて特定の対象者（社員）に対する弁当提供であるため、給食部門で良いとの回答があった。また、特徴的な事例として、ホテルでの客用食材の余りを社員食堂へ活用し、スマートミールの基準も満たすメニューで応募した事業者が紹介された。以上の結果、全件認証された。

4. 2024年度更新状況（外食・中食部門）

外食・中食部門の更新状況について、外食・中食部門では、今回★数の増加事業所は無し、1件★が2→1に減少するところがあった。また、更新の機会に合わせて変更届が出されることもあったと報告された。

5. 2024年度更新状況（給食部門）

給食部門の更新状況について、更新率は84%と高く、今年は早い段階で市川副代表理事から給食会社へ、学会等で声かけをしていたことが要因と考えられる。不明5件には、能登地方の事業者で連絡がつかない状態のところも含まれている。★数の増加は、1→2が3件、2→3が5件あり、審査後、認証された。

報告事項

1. 環境に配慮した取組に関する基準の検討について（報告）

議長より、持続可能な環境に配慮した取組に関する認証基準の検討として、①地元食材の使用、②旬食材の使用、③持続可能な方法で生産・収穫された食材の使用、④食品ロスの削減、⑤省エネ・省資源の取組、の5項目を新たなオプション項目として設定する方向で検討を進めていると報告があった。今年の秋ごろまでに認証基準をまとめて、来年度の応募要綱に盛り込む予定であるとのことであった。

2. 広報活動について

議長より、自治体管理栄養士対象に健康な食事・食環境研修会として、2024年9月23日に「あなたの街にもスマートミール！」のオンラインセミナーを予定していると報告があった。社員の各学会には改めて案内を出すとのことであった。

3. データ利用について

議長より、本法人により運営される健康な食事・食環境認証制度において収集されたデータを研究活動等に利用するにあたり、利用要綱を定めたことが報告された。配布資料に基づき、利用者やその手続き方法等が説明され、データを有効活用して社会へ発信できるように努めるとの説明があった。

以上

追記：7月13日認証審査委員会欠席の2学会に、7月23日、武見代表理事と市川副代表理事がオンラインにて、審議の内容を説明し、承認が得られた。